

『潤いの粋都 YUMESHIMA』～心と体の潤いを育む未来リゾートを創造します

提案趣旨

- 第1期(IR)とともに夢洲を西日本のインバウンド広域観光を牽引し、日本に国際水準の新しいリゾートライフスタイルを生み出すデスティネーション・ハブを目指します。
- そのために、心と体の潤いを育む未来リゾートをコンセプトに掲げ、グローバルオペレーターとローカルオペレーターの導入やウォーカブルなまちづくりを目指します。

1 第2期区域のまちづくりの考え方

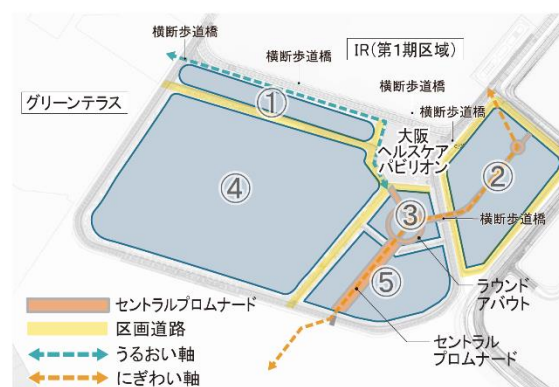
今後、急激なテクノロジーの進展や人間関係の希薄化が予想される近未来においては、人が心と体のバランスを保ち続けることが大きな課題となります。そこで、夢洲第2期は、万博の理念を継承し、豊かな緑や水のもとで「潤いの粋都 YUMESHIMA」～心や体の潤いを育む未来リゾートを形成します。



2 土地利用ゾーニング、都市機能

開発コンセプトを実現する5つのゾーンを設定します。主な都市機能としては、ホテル・アトラクター(集客機能)・商業・賃貸住宅・オフィスで構成し、夢洲全体の回遊性・隣接ゾーンとの相乗効果を生む配置としています。

道路整備においては、夢洲第2期の中心に交通ネットワークのハブとなるラウンドアバウトを整備し、駅前ゲートゾーンと観光外周道路をオーバーパスしてつなぎます。また、にぎわい軸に沿ってメイン動線となるセントラルプロムナード、うるおい軸に沿って緑や水の公園空間を計画し、区画道路を連携させて夢洲全体のウォーカビリティを高めます。各動線にはモビリティルートを重ね、多様な移動の選択肢を提供します。



- ① カジュアルプレジャーゾーン**
商業、アトラクター等による大阪ならではの旅の思い出づくりゾーン
- ② 駅前ゲートゾーン**
夢洲の玄関口にふさわしいホテル、商業、モビリティハブ等の複合施設
- ③ レガシーパークゾーン「新・静けさの森」**
静けさの森の移設とAR等の開発・活用を行う次世代公園
- ④ スーパーアンカーゾーン**
ホテル、ウォーターパーク等の計画による世界最高水準のラグジュアリーリゾート
- ⑤ ライブエンタメゾーン**
様々なエンタメ会場の集積によるオンリーワンのエンタメ・劇場街

3 景観形成・デザインの考え方

建築とランドスケープが一体となった圧倒的な緑と、水辺空間が連続する都市景観を形成し、上質で快適な体験を来街者に提供します。

4 万博の理念を継承するまちづくり

ソフト、ハードの両面から万博理念を継承・発展させていきます。ソフト面では実証・人材育成拠点や公共空間を活用した実証実験等のスマートなまちづくり、ハード面では大屋根リングの再利用や万博の静けさの森の樹木を移設して開発公園を整備します。